

普及現地情報

発信年月日：令和元年（2019年）9月5日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19024
部門分類：130(工芸作物・特用作物)
発信者名：竹若

知事と朝宮の茶農家が朝宮茶の将来を語る

8月20日、甲賀市信楽町の朝宮茶拠点施設において、知事と信楽町の茶農家らとの意見交換会が開催されました。朝宮地域の茶業農家と関係機関16名が参加し、今後の朝宮茶について知事と活発な意見交換を行いました。

当日は、滋賀県茶業会議所における有機質肥料配布事業の実施状況や、6次産業化中央プランナーの指導をもとにとりまとめた100年後の朝宮を考えた「朝宮茶100年の計」など、最近の朝宮茶を取り巻くトピックを紹介するとともに、有機JAS認証茶の試飲が行われました。

その後、知事からは「朝宮という良い名前を前面に出して、風景や機能性、歴史などをアピールして聖地化できないか」、「忍者と朝宮茶のコラボができないか」などの提案がありました。参加者からも、ここぴあを拠点にしたPR展開や女性グループの輸出促進活動への支援など、様々な意見、提案が出されました。

当課は、今後も朝宮茶百年の計の実現に向けて支援していきます。



意見交換会后に有機栽培茶園にて集合写真

朝宮茶100年の計(案)

～100年後の朝宮茶を考える～ 信楽町茶業協会

信楽町茶業協会では、持続可能な(SDGs)茶産地として発展していくため、福井プランナーらのご指導の下、百年後の朝宮茶のあるべき姿について検討しました。
その概要は以下のとおりです。 2019/08/07

- 1、日本一の高級ブランド「ASAMIYA」茶を世界に発信**
日本一の朝宮茶ブランドを確立したうえで、世界に向けて朝宮茶の魅力を積極的に発信していきます。
- 2、朝宮を日本茶の聖地に**
原点回帰で伝統的な茶づくりを見つめなおし、茶の持つ文化的な側面、機能性など様々なポテンシャルを高め、観光とタイアップすることで、日本最古の茶産地朝宮を日本茶の聖地としてアピールしていきます。
- 3、新しい朝宮茶づくりへの挑戦**
積極的に最先端技術を取り入れ、環境へのこだわり、女性参画、省力化など、時代のニーズにあった新しい茶づくりを目指します。

↓

【研究会の発足】
「朝宮茶百年の計」の実現のため、SDGs×朝宮茶や有機JAS認証の取得拡大なども含め、研究会を発足します。

意見交換会で説明された「朝宮茶百年の計」